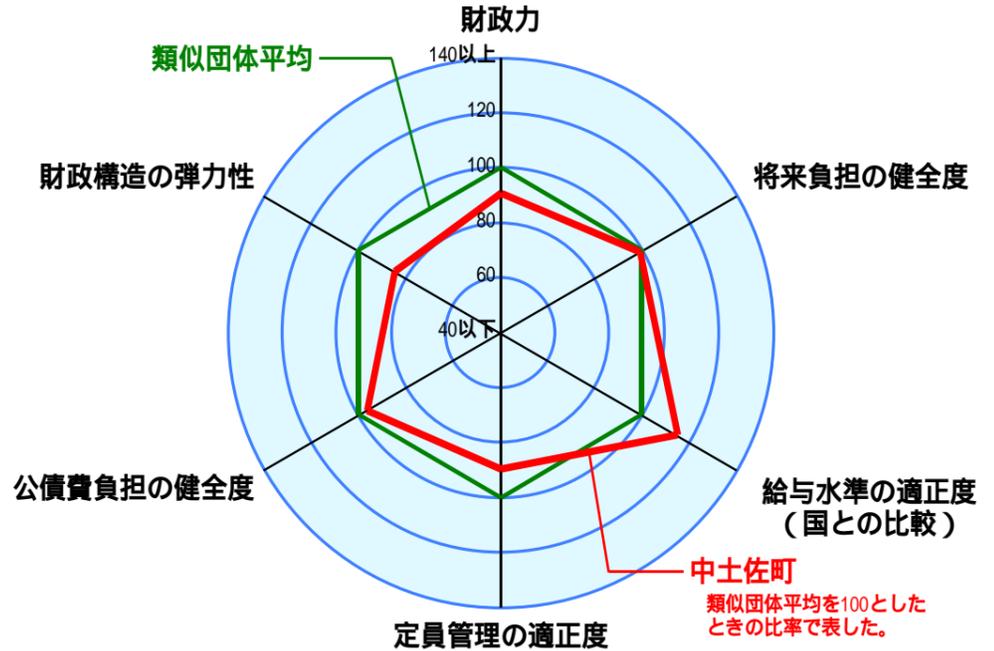
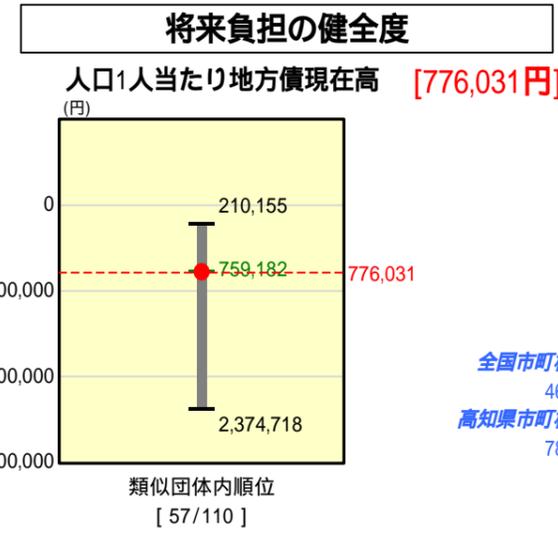
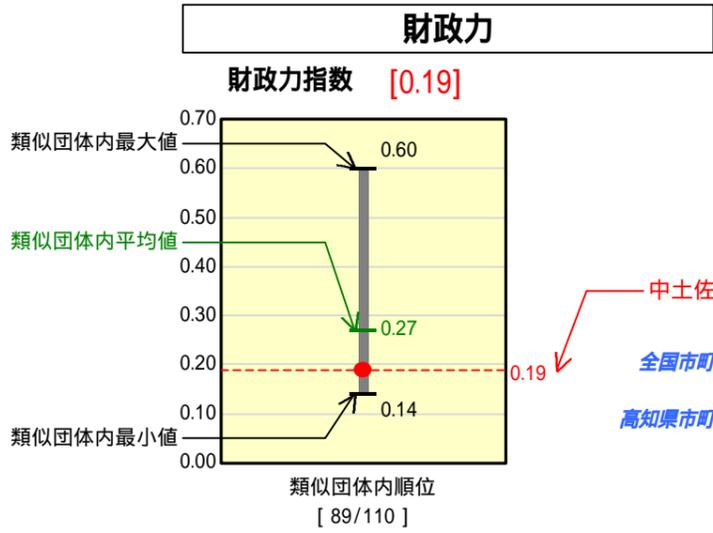


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 高知県 中土佐町

人口	7,197人(H17.3.31現在)
面積	92.78 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,967,244千円
歳出総額	3,789,398千円
実質収支	166,882千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

【財政力指数】  
・年々加速する人口の減少及び高齢化率(平成16年度末32.8%)の上昇に加え、町内に中心となる産業がなく、財政基盤が弱い為、自主財源となる町税の増加が見込めず、類似団体平均を大きく下回っている。今後市町村合併を視野に入れ抜本的行政改革により、課の再編成を行い、重点施策の実行、歳出削減の両立を目指し、活力ある町づくりを展開しつつ財政の健全化を図る。

【経常収支比率】  
・町税等経常的自主財源が乏しく財政基盤が弱い。歳出面では、人件費の職員給3%カット、職員数の削減、特別報酬の2-3%カット等行ったにもかかわらず、公債費と併せて経常経費充当の65.6%を占めており、経常収支比率は全国平均及び県内市町村平均を大幅に上回っている。今後町税については、一部事務組合の租税債権管理機構と連携をとり、徴収率のアップに努め、歳出面では更なる職員給のカットも視野にいれ事務事業の見直しを進め、優先順位の低い事務事業について、廃止・縮小を行い経常経費削減を図る。

【起債制限比率】  
・近年大型プロジェクト事業の財源を起債発行に依存した結果、類似団体平均をやや上回っている。平成19年以降は、合併による建設計画に沿った振興計画の見直しを行い、大規模な事業計画の整理・縮小に努め、起債依存型の事業実施を見直し、5年以内には、類似団体平均以下の9.0%まで低下させる。

【人口1人当たり地方債現在高】  
・起債制限比率と類似団体中間順位に位置しているが今後合併による大型建設事業も見込まれるので、合併の建設計画及び新町振興計画の優先事業実施時期を調整するとともに他事業における地方債発行額の抑制を図り、類似団体平均を上回ることがないよう努める。

【ラスパイレス指数】  
・今年度は、職員給3%カットを行い、且つ年功的な要素が強い給料表の構造を見直し、職務・職責に応じた構造への転換を図る観点から、職務給を9級制から8級制に改定した結果、1.6ポイント減少し、類似団体平均を大幅に上回っている。今後10年間で定年退職が44人いる。これに伴う新規採用者を定員管理計画に沿って調整し、目標として10%削減を図っていくとともに、事務事業の更なる見直し及び保育所統合や学校給食の一本化等を視野に入れた調整を行っている。

【人口1,000人当たり職員数】  
・町内に3カ所の町営保育所を有し、小学校給食も一部委託はあるもの町内2カ所で事業している。地方公共団体定員管理診断表でも、保育所、小学校、保健福祉施設で職員が27人超過しており、類似団体平均を大幅に上回っている。今後10年間で定年退職が44人いる。これに伴う新規採用者を定員管理計画に沿って調整し、目標として10%削減を図っていくとともに、事務事業の更なる見直し及び保育所統合や学校給食の一本化等を視野に入れた調整を行っている。

